

# (お 知 ら せ)



平成 19 年 4 月 5 日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

### 1. 運転状況について（4月5日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	平成19年2月16日より 第31回定期検査中
2 号 機 加圧水型（116万kW）	運 転 中

### 2. 保全品質情報等について（平成19年3月5日～平成19年4月5日）

(1) 法律に基づく報告事象や安全協定の異常時報告事象に該当する重要な事象  
な し

(2) 安全協定の異常時報告事象に該当する軽微な事象

<その都度、当社ホームページに掲載しています。>

#### ①敦賀発電所1号機 復水移送系の流量計からの水漏れについて

第31回定期検査中の平成19年2月17日、旧廃棄物処理建屋地下に設置されている床ドレンサンプの水位上昇を示す警報が発報したため、現場を確認したところ、同建屋1階の復水移送配管流量計からの漏えいを確認しました。このため、当該流量計を隔離し、漏えいを停止しました。

また、同建屋1階にある当該流量計下部の床面に2箇所の水たまり（計約15リットル）と同建屋地下の床面に1箇所の水たまり（約60リットル）が確認されました。

地下床面の水たまりは、地下1階にある床ドレンサンプにたまった漏えい水の一部があふれ、同建屋地下の床面に広がったものと推定されました。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

当該流量計を外観点検したところ、テーパ管とフランジ部の間に取り付けられたパッキンが外部にはみ出しており、そこから漏えいが発生したものと推定されました。

詳細調査の結果、本年2月の分解点検後の当該流量計組立て時、テーパ管がわずかに変形していたため、パッキンの一部に面圧の小さい部分が生じていたと推定されました。

その後、復水移送系の運転操作に伴い、パッキン内面に加わる圧力が変動したため、パッキンが外側に押し出され、漏えいが発生したものと推定されました。

対策として、当該流量計をテーパ管の長さが均一な新品に取替えるとともに、同型の流量計の点検の際には、テーパ管の長さを測定し、変形がないことを確認することとし、その旨、作業要領書に反映することとしました。

### (3) 前記(1)及び(2)に該当しない軽微な事象

＜その都度、当社ホームページに掲載しています。＞

#### ① 敦賀発電所1号機 主蒸気隔離弁内部バネの割れの原因と対策

第31回定期検査中の平成19年2月23日、4台ある主蒸気隔離弁の内、1台(1B弁)の分解点検において同弁の構成部品である内部バネ<sup>※1</sup>の一部に割れが発生していることを確認しました。

同弁には、原子炉側とタービン側を隔離する機能が求められていますが、分解点検前に実施した同弁の漏えい率検査において、この機能を満足しており、バネの割れは弁の開閉動作や隔離機能に影響を与えるものではありません。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

破面を詳細に観察した結果、応力腐食割れ<sup>※2</sup>(以下、「SCC」)で見られる特徴的な模様が確認されたことから、SCCが発生、進展し、割れに至ったものと推定しました。

対策として、割れが確認された当該のバネは新品に取替えました。

他の3弁のバネについては浸透探傷検査、放射線透過検査を実施し、割れないことを確認しました。なお、念のため、他の3弁のバネは次回第32回定期検査(平成20年度)時に新品に取替えます。

※1：内部バネ

主蒸気隔離弁は、主蒸気管破断時等の緊急時に弁を閉じ、原子炉を隔離するために設けられている。この弁には、主弁の開動作を補助するため、主弁の内側に小弁が設けられており、主弁が全閉状態から開動作する前に小弁を開動作することで、主弁の前後差圧を小さくし、主弁をスムーズに開動作させる。

内部バネは小弁が全閉状態から開動作する際に、その動作を補助する役割を持つものである。

※2：応力腐食割れ(SCC)

ステンレス鋼などさびにくい材料で、引張り応力と腐食環境の相互作用により亀裂が発生し、時間と共に進展する現象を応力腐食割れ(Stress Corrosion Cracking: SCC)と呼んでいる。

#### ② 敦賀発電所1号機 低圧タービン レーシングワイヤの割れについて

第31回定期検査中の3月13日、蒸気タービン定検工事において低圧タービンのロータ点検を行っていたところ、第13段翼(全340枚)に取り付けられているレーシングワイヤ<sup>※</sup>全56本のうち、ろう付け部の1箇所割れが発生していることを確認しました。

このため、低圧タービン翼のうち、レーシングワイヤが取付けられている第12段、第14段について浸透探傷検査を実施し、割れないことを確認しました。

今後、割れが確認されたレーシングワイヤ1本について新品に取替えます。

この作業に伴い、第31回定期検査終了(営業運転再開)が平成19年5月下旬から6月中旬となる予定です。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

※：レーシングワイヤ

翼の共振を回避するために、隣り合う羽根同士を束ねるためのワイヤで、第12段、第13段、第14段に取付けられています。

第13段翼は、6枚から7枚の翼を1本のレーシングワイヤで束ねています。

### 3. 発電設備に係る点検結果について

当社は、平成18年11月30日の原子力安全・保安院からの指示（発電設備に係る点検について）に基づき、社長のトップマネジメントの指示の下、常務取締役を委員長とする「発電設備に係る調査・対策委員会」を設置し、全社を挙げて発電設備に係る点検を行い、3月30日に、点検結果を取りまとめた報告書を経済産業省原子力安全・保安院長宛に提出いたしました。

また、茨城県、東海村、福井県、敦賀市及び美浜町にも同様の報告書を提出いたしました。

今回の点検の結果、改ざん、隠ぺい、手続き不備など15件の不適切な事案を確認しました。現在ではすべて是正されており、設備の安全上の問題はありませんが、これらにつきましては、重く受け止め、深く反省しております。

立地地域をはじめ社会の皆様には、大変ご迷惑、ご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後、これらの事案については、原因究明と再発防止対策を検討してまいります。同様の事象を発生させないために、改めてトップマネジメントの強い決意のもと、全社員が一丸となって、安全第一を最優先に一層の社会的な信頼性の確保に努めてまいります。

《平成19年3月30日 記者発表済》

### 4. 敦賀発電所1号機 第31回定期検査の状況について

敦賀発電所1号機は、平成19年2月16日から約4ヶ月の予定で、第31回定期検査を実施しています。

《平成19年2月14日 記者発表済》

現在、原子炉関連設備やタービン関連設備等の点検作業を実施中です。

(別紙工程表参照)

### 5. 当社における労働安全衛生マネジメントシステムについて

昨年当社は、作業安全の確保・作業環境の整備などを旨とし、「労働安全衛生マネジメントシステム」を導入しました。今年度は本システムを有効に活用し、すべての業務における心身に及ぼす危険性を摘み取る活動を着実に進めてまいります。

### 6. 敦賀発電所3, 4号機準備工事について（4月5日現在）

#### (1) 防波堤・護岸等の構築

- ①敦賀発電所岸壁にてケーソンを製作しています。
- ②敦賀市内用地及び敦賀港内岸壁にて、コンクリートブロックを製作しています。
- ③3月21日より、今シーズンの海域工事を再開しました。

## (2) 敷地造成工事

工事中仮設道路の敷設工事が終了し、4月3日から背後山地の切取工事を開始しました。

## 7. その他

### (1) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

#### ① 関 <sup>しょうり</sup>松鯉写真展

〔敦賀市在住の関 松鯉様による写真個展です。関様は、退職を機に全国の学校撮影に取り組み、北海道から九州まで200校を超える木造校舎を撮影されてきました。今回の個展は、辺地の学校を訪ねられ撮影した作品30点を展示。〕 (3/27～4/8)

#### ② アメリカントールペイント “Painting mama” 作品展

〔“Painting mama”の皆様による、トールペイントの作品展です。素朴なカントリー調の作品から美しい色彩感の作品を約200点展示。〕 (4/10～4/22)

#### ③ 青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージポスターの部入賞作品展

〔青少年健全育成敦賀市民会議主催のポスター作品展です。敦賀市内の小・中・高校生と一般からの応募作品の中で選ばれた優秀作品を展示予定。〕 (4/24～5/6)

以 上